

## 令和2年度第1回宮崎東諸県地域医療構想調整会議 議事要旨

### 1 日時

令和2年6月29日（月） 午後7時から午後8時まで

### 2 場所

宮崎県総合保健センター 5階 大研修室

### 3 出席者

#### (1) 代表者 14名

宮崎市郡医師会 会長 川名 隆司（宮崎市郡医師会病院 院長 兼務）

副会長 山村 善教

会員 鶴田 和仁

宮崎市郡薬剤師会 会長 宮本 圭一郎

全日本病院協会宮崎県支部 理事 辰元 信

宮崎県看護協会 理事 新原 幸子

宮崎大学医学部附属病院 院長 鮫島 浩

国立病院機構宮崎東病院 院長 塩屋 敬一

宮崎市 健康管理部次長兼宮崎市保健所長 西田 敏秀

国富町 保健介護課 課長 坂本 浩二

綾町 福祉保健課 課長 佐藤 光久

宮崎市国保年金課 課長 長友 道明

宮崎県保険者協議会 企画総務部長 蓑部 敏雄

宮崎県中央保健所 所長 日高 良雄

#### (2) 事務局等

宮崎県地域医療構想調整アドバイザー 鈴木 齋王

宮崎県地域医療構想調整アドバイザー 金丸 吉昌

宮崎県医療薬務課 中央保健所次長、主幹、総務企画課長、総務企画担当

### 4 議事

#### (1) 今後の具体的対応方針シート等（シート1・2）について

〔野崎病院、県立こども療育センター〕

#### (2) 公立・公的医療機関の具体的対応方針の再検証について

〔宮崎東病院、宮崎江南病院〕

#### (3) その他

〔議事概要〕

審議内容が個別の医療機関の経営に関する情報に該当するため、宮崎東諸県地域医療構想調整会議運営要綱第2条第2項の規定により、非公開とすることで各代表者了承

(1) 今後の具体的対応方針シート等（シート1・2）について

野崎病院、県立こども療育センターから説明があった。

【主な意見等】

- ・骨格系疾患は一定の割合で発生するため、県立こども療育センターのような施設がしっかり機能することが非常に大事である。

【結果】

- ・今回の2医療機関の報告を終え、管内のすべての病床を持つ医療機関の今後の対応方針について話を聞いたことは有意義であった。これまで同様に情報を共有しながら、2025年に向けた医療体制を構築していくためにも、今後の協力をお願いし、合意を得た。

(2) 公立・公的医療機関の具体的対応方針の再検証について

宮崎東病院、宮崎江南病院から説明があった。

【主な意見等】

- ・宮崎東病院については、宮崎市の地域包括ケアシステムを推進する上でも、福祉施設の充実は重要だと思う。
- ・宮崎江南病院については、在宅訪問看護から救急、透析、形成外科という、あらゆるものに対応している。また、在宅患者の急性増悪に対して、在宅医療後方支援病院としての役割を果たしているというオールマイティーな病院である。
- ・宮崎江南病院は、難病を持った患者が多いため、そのような人が在宅になった場合の後方支援病院ということも含めて対応してもらえると非常に助かる。

【結果】

- ・2医療機関の具体的対応方針の再検証については、調整会議の合意が得られた。

以上